ギカイのトリセツ

KGD

かほく　ぎかい　だより

第133号
2026年10月15日
発　行



キラリかがやく人

これまで受け継がれて来た伝統を、次世代に引き継ぐ重責を無事に果たした阿部裕介さん（松橋東）。

祭りを通して地域や町のにぎわいにつながればとの思いで、中地区の14地区・青年会の会長方と協力して、大当番会長を成し遂げました。

秋の決算大審査会　2P
どうする学校整備（一般質問）　15P
災害対策どう思う　24P

https://www.town.kahoku.yamagata.jp
山形県河北町議会　山形県西村山郡河北町谷地戊81　〒999-3511　☎0237-73-2119　編集／広報広聴常任委員会
印刷／株式会社 武田印刷

シリーズ　みんなの声

災害の対策どう思いますか？

皆さんからお聴きした声、町政に活かします。



奥山健太（おくやまけんた）さん（畑中）

分かりやすい防災情報の開示を

最新の情報を開示しているのかもしれないが、本町の避難場所や災害対策自体、分かりづらいところがあると思う。

分かりやすい防災情報の開示と、最新の防災対応に努めて欲しい。



太田　等（おおたひとし）さん（押切）

治水対策早期完成願う

当地区に２か所の排水設備が完成した。押切悲願の設備であり、大変安心している。

ハード面の整備はもとより、防災意識などソフト面を益々充実しなければならないと思う。



今田一典（こんたかずのり）さん（16区）

自身の安全対策を第一に

各地で発生している災害を他人ごとにとらえないこと。

家庭でも職場でも自身の安全対策を第一と話ししています。

避難場所が一目でわかる標識があればと思います。



後藤志穂（ごとうしほ）さん・凛（りん）さん（東団地）

避難所のプライバシーは

避難所生活を余儀なくされた際、プライバシーや個人空間がどのように確保されるのかが気になります。

仮設した避難所体験などあれば実際に見てみたいです。



和田浩二（わだこうじ）さん（両所島）

自助、共助、協働

自然災害が相次ぐ中、活断層が通り、山や古佐川に近い両所地区は、災害を身近に感じます。

今年防災士講座を受講し、知識を深め、今後の生活と地域のために貢献したいです。



渡邊伊織（わたなべいおり）さん（長表）

災害時の水の確保を

大規模災害で水道が止まった場合、生活や避難所への影響が心配です。町には、水道管の耐震化や給水体制の強化など、災害時にも必要な水を確保できる備えを進めてほしいです。

あとがき

暑かった夏も過ぎ、朝晩には秋の訪れを感じる季節となりました。

今定例会では、決算審査をはじめ、町政に関わる様々な議論が交わされました。議会でどれだけ議論を重ねても、その内容が町民の皆さんに伝わらなければ、共感や新たな声にはつながりません。

まずは議会を知ってもらい、共感したことを周りの人とも共有してもらう。その輪が広がり、皆さんの声が議会へとつながっていく。そんな「伝わる議会だより」を目指してまいります。（あびこ）

広報広聴常任委員会

委員長　奥山　英幸
副委員長　林　智
委員　木村　章一
委員　吉田　芳美
委員　安達　智勇
委員　安孫子真弥

令和7年度はどこにどう使った？

秋の決算大審査会

※支出の内容の一部を紹介します

歳入／歳出／公債費

歳入	112億9524万円
歳出	108億7591万円
公債費	8億1060万円

歳入は地方公共団体が1年間に得る収入
歳出は地方公共団体が、会計年度に行う全ての支出
公債費は、地方公共団体が過去に借り入れた借金の返済額

令和7年度ふるさと納税寄付金



10億6411万円

令和6年度より約3億4700円減

防災行政無線更新工事



2億5960万円

聞こえない、聞き取りづらいなどの課題緩和

放課後児童クラブへの支援



1億470万円

町内4つの事業所へ支援ほか

空き家対策



1716万円

危険空き家対応や空き家の利活用へ

動物園の運営、利活用



2311万円

賑わい作りや、動物の救護場所として



佐藤（さとう） 茂美（しげみ）さん（末広南）

かほくPAYの機能向上を

かほくほくほく応援券の影響もあり、賑わいが戻ってきた実感がある。
160近い取扱事業者があるのでポイント併用などで、かほくPAYを利活用し機能性を向上させて欲しい。

かほくほくほく応援券事業



1億866万円

食料品等物価高騰対策

かほく発信事業



4134万円

SNSや魅力事業で本町PR



和田（わだ） 茂樹（しげき）さん（大町中）

より多くの方が来園されることを願う

町の皆さんに愛され、身近な場所である動物園の存続を願って動物園応援酒を販売しています。
より多くの方が動物園に来園されることを願っています。

秋の決算大審査会
質疑の時間 Part.1-1

決算審査特別委員会の
質疑を一部紹介します。



決算審査特別委員長
鈴木（すずき） 英友（ひでとも）

9月8日分　9月9日分
9月10日分　9月11日分

商工費

商工業や観光振興に使うお金



どんがまつり宣伝開始もっと早くならないか

問　どんがまつりやひなまつりの、宣伝開始のタイミングが、他市町のお祭りに比べて、遅いのではないか。

雛とべに花の里推進主幹　遅いのは認識している。

実行委員会で決めてから、宣伝を開始することになる。

どんがまつりの実行委員会は4月なので、宣伝はその後になってしまう。

早くできるように話し合いたい。

動物園の来園者にキッチンカーはどうか

問　児童動物園に来園者がとても増えている。

来園者サービスのため、キッチンカーの運営許可の検討などはなされてきたのか。

商工観光課長　今は許可をしていない。

身元がしっかりしている運営者のキッチンカーならば、許可の余地はある。

企業版ふるさと納税どう取り組むか

問　企業版ふるさと納税で、河北町は36万円余をいただいている。

成果を上げている近隣の自治体の取り組みを、どのように評価しているか。

町長　一般のふるさと納税と違った取り組みで、金融機関のネットワークなどと、連携が必要かも知れない。

ふるさと納税の減額分析と対策で増額へ

問　ふるさと納税は担当が頑張っている。

基金積み立てが、前年より3億5千万円減ったが、分析と対策で増額できるか。

雛とべに花の里推進主幹　返礼品のお米の価格変動と10月の制度変更に対応が遅れた。

お米は早目に対応し、人気のフルーツ定期便を増やすなど、対策を進めている。



人気のフルーツ定期便



にぎわう囃子屋台競演

消防費

広域消防に対し町が負担するお金や、消防団の維持、災害対策に使うお金



防災の放送の更新合成音声とスマホ送信

問　防災行政無線の放送は、2億5千万円余りかけて更新された。

町民からは、何か放送していることはわかるが、内容が聞き取れない、という声が相変わらずだが、担当の評価はどうか。

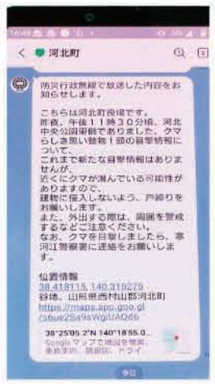
さらに、音声情報が届きやすいように、新型の防災ラジオ導入など検討しているのか。

防災危機管理課長　着工前に分析して4か所に新設し、他はより聞こえやすいように性能アップし、合成した音声にかえた。

さらに、放送と同時にスマホなどに、情報を送るようになった。

新築住宅などでは高気密化が進み、室内では聞き取りにくい場合が多いかもしれない。

防災ラジオは検討していない。



スマホでクマ出没情報を受けられます

防災士は地域で自主防災リーダーに

問　町から支援を受けて受講した以外の防災士は何人か。

全員の防災士で活動してはどうか。

防災危機管理課長　個人情報ということもあり、把握できていない。

防災士には、地域で自主防災会のリーダーになってもらいたいので、協力を求めていく。

教育費

小中学校、公民館、体育館の運営の費用など教育全般に使うお金



部活の地域展開はどのように実証か

問　部活動の地域展開の実証事業はどのように行われたのか。

その中で、マルチスポーツは部活として扱われたのか。

生涯学習課長　部活動の地域展開の実証事業は、令和7年度中の3か月間、10団体で実証事業が行われた。

マルチスポーツは部活として扱われ、河北スポーツクラブが主体の団体で、多様な活動で、体幹を鍛える種目だ。



部活動の地域展開の実証事業

小中学校のエアコンでCO2削減を

問　小学校と中学校で、エアコンによる暖房を優先使用して、灯油や重油の使用量を減らし、CO2を減らす取り組みはどうか。

学校教育課長　学校で実際に試してもらい、足元がスースーすることや、乾燥しやすいことはあるが、充分可能とのことだった。

秋の決算大審査会
質疑の時間 Part.1-2

決算審査特別委員会の
質疑を一部紹介します。

9月8日分　9月9日分
9月10日分　9月11日分

民生費

社会福祉や児童や高齢者・障害者の福祉、医療や保険年金、生活保護など福祉全般に使うお金



社会福祉協議会への支援の見直しを

問　社会福祉協議会の運営は赤字だ。
　町からの委託事業の部分などの、見直しをして増額すべきではないか。

健康福祉課長　社会福祉協議会の本体はずっと赤字で、経営は思わしくない。
　訪問介護事業の剰余金から補填していたが、国による単価切り下げなどで、訪問介護事業の運営もきびしくなり、その補填分も無くなっている。


福祉事業の担い手社会福祉協議会

衛生費

特定検診や予防接種などの保健衛生費、ごみやし尿処理など、安全で衛生的な生活のためにつかうお金



べにタクの500円今後検討でどうなるか

問　500円で乗れるべにのすけタクシーは、登録者が1066人、利用者数が514人、年間11999件の利用で、町民に歓迎されている。
　タクシー会社との契約や町の考えで、町民負担500円は守られるのか。

くらし応援課長　タクシーは、今年3月に初乗りや迎車料金が値上げになっている。
　べにのすけタクシーの500円負担をどうするか、今後検討することになる。


べにのすけタクシーとして送迎します

公営企業費

地方公共団体が経営する企業活動に使うお金



AIで漏水探し 0・7%の有収率向上

問　水道で漏水調査と修理の取り組みで、有収率はどのように向上したのか。
　どのように自己分析しているか。

上下水道課長　AIに水道の管路図や他の情報を読み込ませ、令和7年度は5か所の漏水個所を、探しあてて修理した。
　止めた漏水量は1日あたり8・4トンと推計している。
　水道の有収率（収益になった水量／供給した水量）は、81・8%で、前年より0・7%向上した。


AIで漏水か所を探し修繕工事

その他

総務費、衛生費、労働費、農林水産費、土木費、消防費、災害復旧費などの質疑



役場のAI導入成果は 全庁で月36時間削減

問　役場全庁舎に生成AIのゼボ（ZEVO）を導入したが、どのような成果があるか。

企画財政課長　例えば町広報で、取材した内容と求める記事の要点を示すと、広報の記事の案がまとめられる。
　成果は、AI自身が全庁で月に36時間削減できたと示している。

空き家活用の補助 購入販売や片付け支援

問　空き家の活用支援で、補助制度の利活用の状況はどうか。

防災危機管理課長　空き家バンクに登録して、申請があった件は、最大の120万円を支給した。空き家片付け支援は、2件あった。
　この補助金制度ができて、空き家バンク登録の推進になっている。


空き家バンクに登録されている空き家

議会ダイジェスト

議会ダイジェスト 万が一の災害に備え 対策を強化

今回議決された案件等の一部を紹介します

補正予算後の歳入歳出総額

109億3122万円

1億417万円の増

消防団の機能強化



891万円

救命ボートの導入、消火栓移転など

吊下げ式バスケットボールゴール点検



181万円

児童生徒の安全確保

アグリリトリート構想推進



343万円

機能強化による地域活性化企業人の受入れ

休日の公共交通事業



1065万円

本町と寒河江駅を結ぶ移動手段の実証事業

クマ対策



33万円

人身被害の防止、出没対策

物価高騰対策 農業生産者へ支援



2136万円

農業用機械、園芸ハウスなどの更新を支援

さくらんぼ温暖化対策



377万円

さくらんぼの高温対策に支援



山口（やまぐち） 光貴（ひろき）さん（若葉町）

適宜、迅速に対応を

クマ対策は、町民の生命にかかわる重要なことだと思う。

目撃されたときに備え、シミュレーションなど行い、準備を万全にし適宜、迅速に対応して欲しい。



牧野（まきの） 聡（さとし）さん（6区）

さくらんぼ畑が放棄されないような対策も

さくらんぼ温暖化対策への支援は助かる。

ただ、さくらんぼを生産する農家さんも減少しているので、支援の他にさくらんぼ畑が放棄されないような対策も考えて欲しい。

本定例会の議決案件での
質疑内容を一部紹介します。

9月11日分

総務費

庁舎建物内の経費や人事、企画、財政、徴税、戸籍、選挙、統計など町の統括的な事務事業に使うお金



農林水産業費

農道やかんがい施設の整備、営農の活性化、森林、林道の機能保全などに使うお金



空き家除却補助で除却の相談増えた

問 空き家等除却事業費補助金で、想定を上回る数の空き家の相談が寄せられているとのことだが、要因をどう考えているか。

防災危機管理課長 空き家除却は、昨年度182件の相談があり、今年度も多くの相談が寄せられ、当初予算を超えそうなので追加補正をしたい。

この補助金を創設し春先から町民や業者などに、周知徹底を図ってきたところが大きな要因だと思う。



取り壊し中の空き家

ロボット草刈り機など購入の支援

問 園芸やまがた産地発展サポート事業費補助金の内容と対象となるものは何か。

農林振興課長 園芸品目の生産に取り組む事業者に対し支援するもの。

具体的には、ロボット草刈り機や太陽光パネルキットの購入、サクランボの雨よけハウスの新設などが対象となるほかに、サクランボの雨よけハウスの更新が25棟、乗用草刈り機9台など。



補助対象となったロボット草刈り機

9月定例会の補正予算
質疑の時間 Part.2

その他

民生費、衛生費、商工費、農林水産費、土木費、消防費、災害復旧費などの質疑



折りたたみ式救命ボート購入へ

問 消防施設費で救命ボートを購入するとのことだが、これまでと同様の救命ボートを購入するのか。

救命ボートは1艘のみの保有ということだが、災害時に不足することはないのか。

防災危機管理課長 現在、防災用ゴムボートを1艘保有している。

その一部に破損がみられ、救助の際に使用できないため、新規購入をする。

購入予定のものは、FRP製で折りたたみ式の救命ボート1艘で、耐用年数は20年というもの。災害時には、十分に活用できると思われる。

町所有の救命ボートは1艘だが、警察、消防にも救命ボートがあるので、協力しながら対応していく。



組立後の救命ボート

指定管理料の年度途中の追加

問 紅花資料館の指定管理料が、当初予算のほか年度途中に追加されている。その理由は何か。

雛とべに花の里推進主幹 この指定管理料は、紅花資料館の物産館の指定管理料となる。

指定管理の内容に、物産品の展示・販売も含まれているが、これまでは河北町観光物産協会の売り上げによって賄ってきたため、物産館の指定管理料は入っていなかった。

しかしながら、近年、コロナ禍などによる動行形態の変化もあり、団体ツアーが少なくなり、紅花資料館への入館者が減少したことなどもあり、赤字が続いていた。

この赤字分を河北町観光物産協会の資金で補填していたが、令和7年度の収支決算が赤字であり、河北町観光物産協会の資金も底をついてきたことから、町として指定管理料を出すことにした。



販売展示が一新された紅花資料館の物産館売店

一目でわかる議員の賛否一覧

賛成…○　反対または棄権…●　欠席…欠
（議長は採決には加わりません）

	件名と主な内容（件名は一部省略しています）	議決結果	1 漆山光春	2 東海林信弘	3 林智	4 増川憲一	5 安孫子真弥	6 木村章一	7 奥山英幸	8 安達智勇	9 佐藤修二	10 鈴木英友	11 石垣光洋	12 細矢誓子	13 吉田芳美
令和7年度決算	令和7年度河北町一般会計歳入歳出決算認定 歳入総額112億9524万円、歳出総額108億7591万円　繰越明許費5093万円 財政調整基金への3億3000万円を除く、3839万円を令和8年度に繰り越す	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度河北町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額18億4504万円、歳出総額17億6838万円 国民健康保険基金に4300万円を積立　3365万円を令和8年度に繰り越す	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度河北町西里財産区特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額140万円、歳出総額42万円　差引総額98万円を令和8年度に繰り越す 山検分や下刈作業など、山林保全活動を実施	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度河北町介護保険特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額25億3899万円、歳出総額25億953万円　差引総額2945万円 介護給付費準備基金に1488万円を積立、1456万円を令和8年度に繰り越す	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度河北町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額3億3350万円、歳出総額3億2723万円　差引総額626万円 差引総額は全額、令和8年度に繰り越す	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度河北町水道事業会計の剰余金処分及び決算認定 剰余金の総額は8727万円、減債積立金に1545万円、建設改良積立金に1500万円をそれぞれ積み立て、資本金に5682万円を組み入れ	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度河北町下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定 剰余金の総額は1906万円　全額を利益積立金に積み立て	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	令和8年度河北町一般会計第2回補正予算 歳入歳出それぞれ1億217万円を増額、歳入歳出の総額は109億2922万円 べにのすけタクシージュニアの実証運行費用など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和8年度河北町一般会計第3回補正予算 歳入歳出それぞれ200万円を増額、歳入歳出の総額は109億3122万円 谷地中部小及び周辺の公共施設を利用した小中学校整備の調査費用	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和8年度河北町国民健康保険特別会計第2回補正予算 歳入歳出それぞれ3309万円を増額、歳入歳出の総額は19億8340万円 高額療養費の制度改正に伴うシステム改修委託料など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和8年度河北町介護保険特別会計第1回補正予算 歳入歳出それぞれ1613万円を増額、歳入歳出の総額は26億4115万円 介護報酬改定に伴うシステム修正委託料の増額など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和8年度河北町水道事業会計第2回補正予算 消火栓取り換えに伴う工事事務費負担金及び工事負担金として575万円を増額 水道事業収益を4億9649万円とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	件名と主な内容（件名は一部省略しています）	議決結果	1 漆山光春	2 東海林信弘	3 林智	4 増川憲一	5 安孫子真弥	6 木村章一	7 奥山英幸	8 安達智勇	9 佐藤修二	10 鈴木英友	11 石垣光洋	12 細矢誓子	13 吉田芳美
条例	河北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定 出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律等の施行に伴い提案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	河北町路線バスの設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定 河北町路線バス寒河江線を新設するため、条例の一部を改正する必要が生じた	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	河北町監査委員の監査の執行に関する条例及び河北町上下水道事業設置条例の一部を改正する条例の設定 地方自治法の一部改正に伴い提案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	河北町町税条例の一部を改正する条例の制定 地方税法等の一部を改正する法律が令和8年3月31日に公布、同年4月1日から施行されたことに伴い提案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	人権擁護委員の候補者の推薦 人権擁護委員菊地ひろみ氏は、令和8年12月31日に任期満了となるため、同人を適任と認め、再び推薦する	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦 人権擁護委員佐藤美由紀氏は、令和8年12月31日に任期満了となるため、同人を適任と認め、再び推薦する	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦 人権擁護委員井上和幸氏は、令和8年12月31日に任期満了となるため、その後任として東海林秀一氏を適任と認め、推薦する	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	河北町教育委員会委員の任命 河北町教育委員会委員児玉康子氏は、令和8年11月30日に任期満了となるため、引き続き同人を任命いたしたく、議会の同意を求める	同意	無記名投票により　賛成12票 反対1票												
その他	河北町名誉町民の弔慰についての専決処分 名誉町民大塚文雄氏が6月30日に逝去されたことに伴う弔慰について、7月9日に専決処分をした	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道路線の認定及び廃止 古佐川河川改修事業による吉田東橋撤去に伴う終点位置の変更により、町道吉田東第2号線の認定及び廃止をする必要が生じた	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公の施設の区域外設置 河北町路線バス寒河江線について、施設の一部を寒河江市の区域に設置するため、地方自治法第244条の３の規定により提案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和7年度一般会計歳入歳出決算認定で熱烈討論

反対討論

木村　章一

町の学校整備計画は財政無視で問題あり

議会の学校整備特別委員会の報告にあるように、町の学校整備の基本計画は、財政を無視したもので大きな問題がある。全町民にアンケートで意見を聞いて進めるべきだ。

農商工の事業化支援を

農商工連携は事業化支援の方向が見えない。行政がテストキッチンなどを設置、調理加工販売まで支援し、まちおこし、仕事おこしでは、町内外から事業を起こす方々に、タイミングよく提供できる貸店舗や貸し事業スペースを準備すべきだ。

人口減に対策強化を

子どもの人口減少が止まっていない。谷地中部小学区で、学童保育を求める児童数に見合った施設整備などが遅れている。心に届く子育て支援などの対策が必要であった。

医療費18歳までの完全無償化の取り組みや、学校給食費を小中学生の全員を無料にする取り組みは評価する。

観光計画の見直しを

道の駅河北は、新しい指定管理者ががんばっているが、産直と道の駅を一緒にし、集客力倍増の道の駅について検討されるべきだ。

本物の観光振興計画が必要だ。冷たい肉そばに行列ができ、児童動物園に来園者が増え、意図された地域おこしの取り組みが必要だ。

評価するものは評価し、問題を指摘して、決算に反対する。

賛成討論

増川　憲一

くらしの応援による住みよいまちづくり

高校生等の通学を対象とした山交バス利用助成の継続、高齢者等の通院や買い物に利用出来るタクシー利用助成は、交通手段の確保として評価する。

オールかほくで応援するかほくっこ支援

小中学校給食の食材費高騰に対応し、1食当たりの単価を引上げ、質を維持して完全無償化を継続したことは評価する。

また、出生時に10万円、小・中・高校の入学時にそれぞれ5万円のかほく安心子育て給付金や、18歳までの医療費無償化、こども園等の3歳児以上副食費無償化の継続、さらに、0歳から2歳児の保育料負担軽減策は、新たに所得階層第6区分まで対象を拡大したことは評価する。

にぎわいづくり

児童動物園が令和7年4月にリニューアルオープンし、入場無料の動物園として、入園者数は6万1500人に達し、町外からの誘客に大きく貢献している。

安心安全なまちづくり

防災行政無線をデジタル対応の新しいシステムへと更新され、スマートフォンアプリ等への同時配信が可能になった。また、自動ラップ式トイレ、プライバシーを保護する間仕切りテント、簡易ベッドを新たに配備し、避難所における生活環境の充実が図られている。

以上決算に賛成する。

11 議員が一般質問 町政へ政策提言

あなたはどの**質問**に**共感**しますか。

P15
安孫子真弥（あびこ まさみ） 議員
①谷地中部小学校を活用した義務教育学校の可能性

奥山　英幸（おくやま ひでゆき） 議員
①山形県立谷地高等学校（支援評価、県外生募集、魅力UP）
②町内の学校整備（施設一体型義務教育学校を目指さないのはなぜか）

P16
吉田　芳美（よしだ よしみ） 議員
①統合小学校の建設ではなく谷地中部小の活用を図ること
②技能実習から育成就労制度へ、町内で働く外国人労働者への影響は

安達　智勇（あだち ともたけ） 議員
①地域の公民館に対する修繕等の補助制度の拡充

P17
細矢　誓子（ほそや せいこ） 議員
①水道事業における鉛管敷設状況と水道管の耐震化進捗状況

鈴木　英友（すずき ひでとも） 議員
①どんがホールのあり方（交流拠点施設、現状でよしとするのか）
②河北町児童動物園にふさわしい時計設置を
③公園の設置状況（役割と基準、環境整備、維持管理、防災公園など）

P18
東海林信弘（とうかいりん のぶひろ） 議員
①任期満了にともなう河北町長選挙に対する、森谷町長の出馬の考え

林　智（はやし さとし） 議員
①災害発生時「交通網寸断」想定した食料供給体制
②災害発生時のBCP（業務継続計画）と職員参集体制
③地震時の電気火災・通電火災対策として感震ブレーカー普及と設置支援を
④防災拠点機能を備えた学校整備と財源確保

P19
佐藤　修二（さとう しゅうじ） 議員
①小中学校の整備計画（答申の確認、基本方針の確認、今後の進め方）

木村　章一（きむら しょういち） 議員
①河北中の長寿命化事業がいつの間にか停止された、議会軽視を改めよ
②谷地高校に町が独自に学校給食センターより給食を提供してはどうか
③クマ出没の情報を、ただちに住民に知らせるシステム構築を

P20
石垣　光洋（いしがき みつひろ） 議員
①物価高対策（町民・企業への支援策、地域経済の基盤強化、営農支援）
②河北町消防団と防災力強化（積極的な支援と体制強化）

一般質問とは、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や
将来の方針などについて、議員個人として問いただすことです。

中部小を義務教育学校にできるか

周辺施設も含め実現性を検討



安孫子（あびこ） 真弥（まさみ） 議員

問　小中9年間を一つの学校として運営する義務教育学校を、谷地中部小と周辺施設を活用して整備できないか。

町長　義務教育学校も選択肢である。町民体育館や職業訓練センター、所岡中部公園を含めれば、敷地面積の点では可能と考える。

問　開校時732人では規模が大きすぎるというが、運営の工夫は。

教育長　校長1人の負担を懸念する。学年段階で集団を区切る工夫や、教頭3人で負担を分担する県内の例もある。

問　既存施設を活用して町の負担を抑え、教育環境の改善を早められないか。

学校教育課長　施設配置や使い方を具体化し、補助金や費用を精査する必要がある。開校時期も検討する。

問　現在の整備案との比較は。

町長　増築の必要性やグラウンドの拡張、町民体育館の共用などを検討する。教育・財政の両面から具体的な試算・比較が必要であり、丁寧に精査して議会に説明していきたい。



義務教育学校のイメージ

谷地高への支援どう評価している

2学級を維持し一定の効果ある



おくやま ひでゆき
奥山 英幸　議員

問　多額の費用をかけ、高校側へ支援しているがどのように評価しているのか。

町長　今年度の入学者数が、令和7年度入学者数より、14名多い52名であり2学級を維持している。

　メディア地域探究部地域探究班の部員数が伸び、積極的に活動されており一定の効果があると評価している。

23組の親子にPR

問　地域みらい留学での県外留学生の募集の取り組み状況は。

町長　8月22日、23日東京で開催された合同説明会に参加、2日間で23組の親子にお越しいただき、谷地高生の生の声を通し、PRを行った。

義務教育学校は学校整備の選択肢と認識

問　施設一体型の義務教育学校を目指さないのはなぜか。

町長　規模が大きすぎることと小学校、中学校それぞれの良さを大切にしていきたいが、学校整備を検討する上では選択肢となる形態と認識している。



義務教育学校への選択肢は

統合小建設に反対 中部小の活用を

河北中敷地に建設 小中一貫教育だ



よしだ　よしみ
吉田 芳美 議員

問 中部小は統合小で使う。町長の進め方は、「住民の民意」を反映していない。

建設費も物価高騰が含まれず実態と乖離がある。多額の支出増は町財政の危機に繋がる。

出生数が昨年度43人、新小学校は35人学級2クラスで70人計画、将来の出生を見越した計画なのか疑念を持つ。

溝延小と北谷地小を訪問した。複式解消に向け迅速に行動すべき。

町長 既存小使わない。統合小は河北中敷地に令和13年4月開校。河北中は修繕し使う。新築は23年度の開校。

現時点での建設費は、資材高騰と金利上昇で111億円が、130億円に膨らむ。

外国人労働者 技能実習から育成就労へ

問 令和9年4月改正。技能実習制度が廃止育成就労制度に変わる。

町内雇用の外国人労働者の影響は。

町長 外国人登録者は、315名で内180名が技能実習生で町内の企業が雇用している。人口減少で労働力確保は厳しさを増している。注視していきたい。



給食を議員も一緒にいただきます

自治公民館の 部分修繕にも助成を

物価高騰も考慮し 調査研究する



あだち　ともたけ
安達 智勇 議員

問 自治公民館は、地域の活動の場であり、地域の祭りや行事、防災活動、敬老事業、世代間交流など、地域コミュニティを維持するための極めて重要な拠点だ。

しかし、建築から年月を経て、老朽化が進んでいる建物が多い。

町では、自治公民館の新築や改築、屋根などの全面改修には助成があるが、屋根の塗装など比較的小規模な修繕には補助制度がない。

多くの地区で、世帯数が減少し、高齢世帯が増加している。

一世帯当たりの負担が大きくなっている。

大規模改修をしなくても済むように、予防保全として小規模修繕にも助成を行うべきではないか。

町長 自治公民館は、身近な生涯学習の場であり防災拠点でもある。

老朽化による外壁や屋根の塗装などは補助の対象外であるが、公民館を利用した生涯学習活動や一時避難所としての機能性、物価上昇なども考慮し、支援の在り方について調査・研究していく。



修繕が必要な公民館（イメージ）

耐震適合率は 総延長の14.4%

重要度の高い管路を 優先して更新



ほそや　せいこ
細矢 誓子 議員

問 水道管の耐震化の進捗状況について。

町長 耐震適合率は14・4%。重要度の高い管路を優先して、耐震適合管へ更新していく。令和11年度末まで耐震適合率27%を目指す。

件数で18件 延長は84メートル

問 鉛管給水管の本町での布設状況は。

町長 令和7年末時点での残存数は、件数で18件。延長は84メートル。

昭和48年に鉛管新設使用を停止。道路配水管の分岐から宅地までの給水管は個人の所有となることから、取り換えが進みにくい状況にある。

健康被害に特化した周知 啓発はしていない

問 鉛管布設で生じる健康被害の町民への周知は。

町長 健康被害リスクに特化した個別の周知、啓発は行ってはこなかった。

経営基盤強化や効果的な運用を検討

問 水道事業をこれから進めて行くための重点は何か。

町長 水道事業経営戦略に基づいて耐震化更新を進める。

経営基盤の強化や効果的な運営を見据えて、広域化を図る事も検討する。



水道管耐震化工事の様子

児童動物園 シンボル時計の設置を

愛される動物園づくりに 努める



すずき　ひでとも
鈴木 英友 議員

問 児童動物園らしい時計を設置する方向で具体的に検討してはどうか。

町長 様々な意見や要望を踏まえ、優先順位等を検討しながら、愛される動物園となるよう努めていく。

本質問は、動物園のシンボルとなるような時計の設置についての意見と承った。

どんがホールの あり方について

問 指定管理者に任せっきりにせず、町として助言・指導して、まちなかの拠点として利用を推進すべきでは。

町長 より多くの方々から親しまれる施設づくりを指定管理者と共に行っていく。

防災公園の 設置・整備について

問 町内には合計52の公園があるが、防災公園を整備する考えは。

町長 避難体制や既存の避難場所、各地区の公園等が果たす役割を踏まえながら、地域全体、さらに中長期的な視点にも立って検討していく必要があると考えている。



動物園にシンボルが必要

森谷町長の再選出馬の考えは

まちづくりに全身全霊をかける

問　河北町長選挙が実施されるが、森谷町長の出馬の考えは。

町長　「輝く　人・町　夢と未来に挑戦するまち」を改めて心に刻み次世代の暮らしと経済への展望、希望につながるまちづくりに全身全霊をかけていく。

単刀直入に伺う

問　町長選挙に出馬するのか。

町長　出馬する。

町政を進める為の4つの柱とは

問　町政を進めていくための柱とは。

町長　4つの柱がある。

①河北町の資源、強みを活かした「新しい人の流れと仕事の創出」

②若い世代から「住みたい町」と選ばれる「子育て環境・学校づくり」

③健康長寿と地域を支える「医療と地域公共交通の確保」

④国・県・民間と力を結集した「未来への投資と持続的行財政運営」

この4つを柱に据えて、町政が直面する課題に正面から向き合い、安心して暮らし続けられるまちづくり、将来に展望が持てる基盤作りを前に進めていく。



とうかいりん　のぶひろ
東海林 信弘　議員



まちづくりに全身全霊を

災害時炊出し体制どうなる

アルファ化米活用で負担軽減を

問　自主防災組織が災害時に活動できる体制を。

町長　地域における共助の取り組みを高めていく方向性を認識。

備蓄食料にはアルファ化米等の円滑な配布・活用で、住民の皆様に過剰な負担をかけない持続可能な防災体制の構築が重要だ。

職員も被災　柔軟な職員配置で

問　業務継続計画における職員の参集体制は。

町長　大規模災害発生時は、行政自体も被災し、限られた人的・物的資源の中で災害応急対策や優先度の高い通常業務を並行して遂行する。参集状況に応じた柔軟な要員配置の検討と、実践的な手順の精査や検証が課題だ。

避難時に手動でブレーカーを落とす

問　感震ブレーカーの普及・設置支援を。

町長　広報紙やホームページで周知、自主防災組織等を通じ、通電火災の危険性や啓発活動の充実に努める。

避難時に手動でブレーカーを落とす動作の定着、自助や共助の意識で防災対策が選択される環境整備を図る。



はやしさとし
林 智　議員



水やお湯を入れるだけで食べられる備蓄食

中部小と町体敷地に一体型整備を

選択肢の一つとして検討する

問　尊重すべきはあり方検討委員会の答申（案）の小学校一校統合と整備に向けた基本方針（案）の小中一体型一貫校と思うが。

教育長　その通りだ。

問　議会特別委員会では既存の中部小を活かすこと　老朽化した中学校を先に整備すること　財政的にさらなる検討だが。

教育長　議会のご意見を踏まえて検討する。

問　集約すると中部小校地だけでは狭いので社会体育敷地を合わせれば面積は充分か。

教育長　面積は充分だ。

問　合わせた敷地に中部小を活かし中学校を新築すれば一体型の一貫校ができるが。

教育長　それも選択肢の一つだ。

問　中学校を改築すれば補助金は無いが一人の校長のもと、九年制の義務教育学校にすれば二分の一の補助金を受けられるのか。

教育長　受けられる。

問　中部小と町体を活かし補助金があれば財政的にも最良だ。

今後どう進めるのか。

町長　中部小校舎と周辺の公共施設・用地に一体型の義務教育学校を整備する案を選択肢として検討する予算措置と今後の進め方を議会と協議したい。



さとう　しゅうじ
佐藤 修二　議員



整備が急がれる河北中学校

町民と財政軽視の学校整備改めよ

あり方検討委で答申があった

問　河北中は22年度に長寿命化による更新を開始したのに、説明なしに、いつの間にか事業を停止したのは町民と議会軽視で問題だ。

また、町長は河北中の新築には、国の補助が無いことを知りながら、中学校新築を提案し続けたのは問題だ。

町民と財政軽視の学校整備は改めるべきだ。

町長　河北中の長寿命化は、財政負担の平準化を目指し計画したが、あり方検討委員会で23年12月に小学校統合の答申があり見直しした。

谷地高に給食の提供を

問　谷地高に学校給食センターの給食を提供して、河北町独自の支援をしてはどうか。

町長　谷地高の全生徒分の給食を増やすことは設備的には可能だ。

全国的には学校給食を提供している高校もあるが、谷地高に学校給食を提供することは難しい。

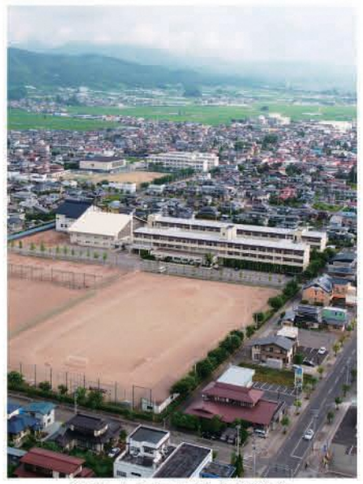
クマ情報をただちに

問　クマ出没の情報を、火災時の対応のように、ただちに町民に知らせるシステム構築を。

町長　クマ対策の現場担当の判断に任せたい。



きむら　しょういち
木村 章一　議員



河北中の長寿命化改修を

町民の生活を支える方策は

柔軟に対応する

問 物価高対策は。

町長 学校給食費の無償化、医療費助成、各種給付金、灯油購入費助成、応援券事業などを通じ、町民生活と地域経済を支えてきた。

今後も国・県の施策を踏まえ柔軟に対応する。

町内企業には、融資制度、保証料補給、固定資産税の軽減、燃料費高騰対策、電子商品券事業などを行ってきた。

地域経済について

問 創業支援、ふるさと納税、アグリ・リトリート構想などにより、町外からの収入獲得と町内循環の強化を図る。

町長 農業分野では、収入保険制度の周知を進める。

地域防災力の強化

問 消防団について。

町長 報酬・手当の改定、装備品や資機材の更新、訓練方法の見直しにより負担軽減を図る。

自主防災組織との連携や消防水利の点検・補修、冬季の除雪、老朽化対策を関係機関と進め、地域防災力の維持・強化に努める。



消防団の春季演習



いしがき みつひろ
石垣 光洋 議員

決算審査質疑の一部をこちらで紹介します。

動物園にクマを飼育 1800の名前の応募

問 児童動物園にクマ舎が新設された。

クマ出没が問題になる時期に、どんな経過や判断があったのか。

町民は受け入れをどう評価しているか。

商工観光課長 クマ出没が問題になる前から、動物救護として相談を受けていた。

数年前に米沢市内で救護された子グマが、治療後自然に返されたが、何度返しても帰ってくるので、飼育されていた。

クマが大きくなって、山形県の動物救護施設となっている、河北児童動物園で、救護飼育の要請があった。

県の予算もいただいてクマ舎を新築し、飼育することになった。

町民などから、非難の声はほとんどなく、ねぎらいの言葉をいただいている。

しばらく、ブルーシートをかけて慣らし飼育をしてきた。

シートを外して、8月末締め切りで名前を募集し、1800ほどの応募をいただき選定作業をしている。



公募でクマの「つむぎ」と決まりました　よろしくね

聞いてみました
いかがですか河北町

移住定住者インタビュー

河北町への移住理由

私は寒河江市出身、妻は山形市出身です。

私の職場は西村山広域の消防、妻は東根市の北村山公立病院に勤めており、二人の通勤のしやすさから河北町を選びました。

妻の通勤時間は約40分から15分ほどに短縮され、夜勤があった時期や、子どもを職場の託児所へ預ける現在も助かっています。

暮らして実感した住みやすさ

結婚後は町内のアパートで7、8年暮らしました。東根・天童方面へ行きやすく、買い物にも便利です。

一方で交通量は多くなく、のどかで、子どもを外で遊ばせやすいと感じています。暮らして利便性の良さを実感し、子どもの誕生を機に、この町に家を建てることを決めました。

地域とのつながり

以前から所岡地区に住み、サハトベに花や町民体育館、町の催しへ歩いて参加できる環境を気に入っていました。希望していた平屋を同じ地区に建て、最近は入り方が分からずにいた青年会にも声をかけていただき加入しました。今後は子どもと祭りへ参加し、地域とのつながりを深めたいです。

子どもが遊べる場所を

物価高の中、子育て世帯への支援がさらに充実すればありがたいです。特に、休日に親子で利用できる公園や屋内施設など、子どもが遊べる場所が増えることを望みます。

また、消防士として、近年の災害の多発を身近に感じています。防災教育を充実させ、町全体で町民の防災意識を高める取り組みに、より力を入れてほしいと思います。



おきつ なおひろ
沖津 直弘さん(下工北)

傍聴者インタビュー

生の議会はいかがですか？

議会傍聴に来られたきっかけは

河北町に引っ越してきて、町の中を歩いて回るうちに、いろいろなことを感じるようになりました。「議会ではどんなことを話しているんだろう」と思って傍聴したのがきっかけです。それから約11年、興味のある一般質問はできるだけ傍聴しています。

踏み込んだ質問をもう少し、町当局から答弁を引き出すような、踏み込んだ質問があってもいいのではないかと思います。「議員として質問している」だけでなく、町を良くするために、もっと強く聞いてほしいですね。

議会(議員)に望むことは

町当局に質問するだけでなく、議員同士でも「こうしたら町が良くなるんじゃないか」ということを、もっと前向きに話し合ってほしいです。議員の側からも、積極的に提案して進めてもらいたいですね。

その他のご意見は

外から河北町に来たからこそ、「まだまだできることがある」と感じます。企業誘致や働く場所づくり、道の駅など、もっと思い切って取り組んでもいいのではないでしょうか。

若い人が「ここで働きたい、ここに住みたい」と思える町になってほしいです。



おおぬま まさのぶ
大沼 正信さん(ひな市)

委員会レポート

町の課題を 調査・研究・提言 します

農産物加工センターで 町民所得向上へ

総務産業常任委員会

地域の農産物を活用し、農家の所得向上や事業者育成につながる、農商工連携などの成功例を視察しました。

新潟県聖籠町において、農産物加工センターを設置し運営しておりました。

センター所有は行政 運営と支援を委託

具体的には、①農産物加工支援の施設は、行政が所有。②運営を民間の事業者の指定管理などにする。③施設の運営は、農家など個人や事業者の地域の食材を生かした物産開発と（一定期間の）生産支援することを主な仕事の一つとする。



加工センター　※写真はイメージです

センターに常駐し 開発と販売まで支援

④ほかに、この加工センターで開発した物産を生産し販売する。⑤物産の開発支援のスタッフを常駐させる。など河北町でも実現すべきです。

商店街の活性化は 目的と方策を明確に

新潟県新発田市では、温泉地の商店街で、徹底して活性化の目的と方策を明確にして取り組み、成功した事例について視察しました。

来町するお客を どう誘導するか

河北町で商店街活性化の目的は、①冷たい肉そばの発祥の地としての賑わいを、長く活性化させる。②児童動物園の集客力を、商店街や産直などにどう誘導するか。

方策は1観光物産協会や地域商社など店舗立ち上げ団体を作る。2客のニーズに合った店舗づくりをする。3採算がとれる団体の運営をする。

など行政として検討すべきです。

歩いて暮らせる スマートウエルネスシティ

厚生文教常任委員会

新潟県見附市では、体の健康だけではなく、人々が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れる状態を、健幸（けんこう）＝ウエルネスと呼び、まちづくりの中核に捉えた取り組みが、「スマートウエルネスみつけ（SWC）」でした。

従来の4本柱に、健康になれるまち、地域が元気、環境に優しいまち、健康を理解して行動を融合させ、市の総合計画の上位概念として位置付けられています。

SWC施策を進める 重要ポイント

①社会参加（外出）出来る場づくり

人との交流拠点、外出目的地、たまり場の整備。

②中心市街地を中核とした賑わいづくり

都市機能を集中させ、市民が徒歩で楽しく安全に過ごせる便利で魅力的な市街地を形成。

③歩きたくなる快適な歩行空間の整備

自動車優先から歩行者優先の道路環境へ転換し、歩く楽しみを演出、ウォーキング・サイクリングコースの整備などです。

成果として現れる

見附市が推進してきたSWC施策により、後期高齢者医療費・介護給付費・要介護認定率が全国平均および新潟県平均と比較して低い水準に抑制されました。

高齢者支援施策

新潟県阿賀野市では、あがの支え愛隊・玄関先除雪・雪下ろし支援・居場所づくりについて視察しました。

見附市の運動施設



意見交換で使われるサウンドカード

議会基本条例の 運用強化

議会運営委員会

持続可能な 開かれた議会へ

岩手県西和賀町議会、紫波町議会を視察しました。

議員報酬の見直し、議会基本条例の運用強化、ICT活用の明文化を進めることは、持続可能で開かれた議会運営につながります。

町民に分かりやすく信頼される議会運営を目指します。

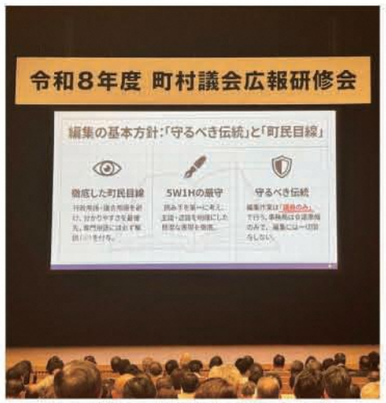
議会だよりで 町民と議会をつなぐ

広報広聴常任委員会

8月に東京で開催された広報研修会に参加、令和7年度全国広報誌コンクール最優秀賞を受賞された本県川西町議会だよりの編集に携わっている橋本氏の講義を受講しました。

川西町の議会だよりは徹底した住民目線を心がけ編集、また外部より広報アドバイザー、広報モニター制度を導入、綿密な方針のもと、発行されています。

川西町の議会だよりを参考に、今後もより良い議会だよりの発行を行って参ります。



川西町議会広報の編集基本方針